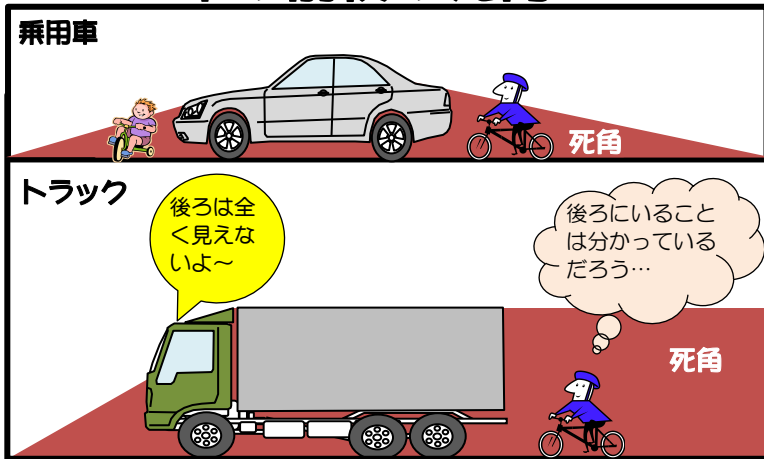


# くるま「死角」カード

## ～車の前後の死角～



車のドライバーから、どうしても見ることのできない範囲を「死角」といいます。

乗用車では3メートルくらい前と6メートルくらい後ろは死角となり見えませんし、トラックの場合、後ろは全く見えません。

また、右ハンドルの車では、特に左側部分は窓枠にさえぎられて見えません。



自転車の皆さんは、自動車の直前、直後を走ったり、並走または直近を横断したりすることはやめましょう。

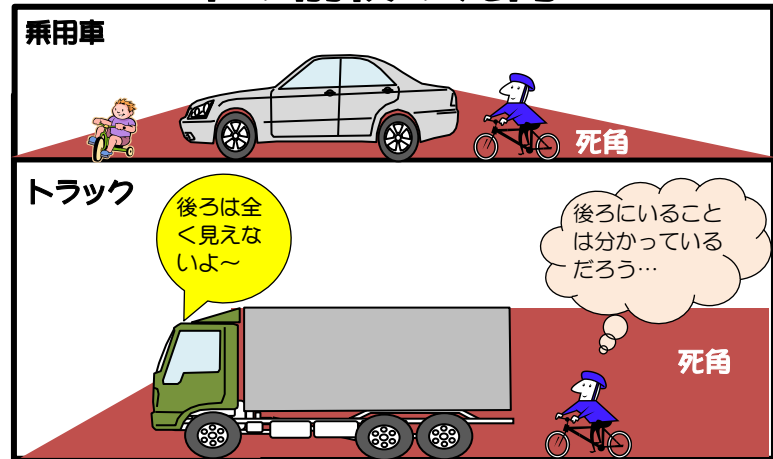
ドライバーの皆さんは、死角があることを念頭に安全確認を徹底し、発進や後退、又は進路変更する際は周囲に人がいないがよく確認しましょう。

埼玉県警察



# くるま「死角」カード

## ～車の前後の死角～



車のドライバーから、どうしても見ることのできない範囲を「死角」といいます。

乗用車では3メートルくらい前と6メートルくらい後ろは死角となり見えませんし、トラックの場合、後ろは全く見えません。

また、右ハンドルの車では、特に左側部分は窓枠にさえぎられて見えません。



自転車の皆さんは、自動車の直前、直後を走ったり、並走または直近を横断したりすることはやめましょう。

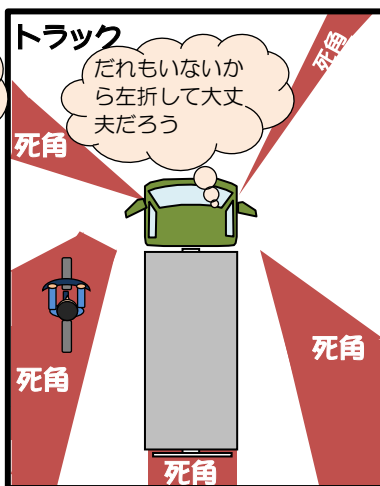
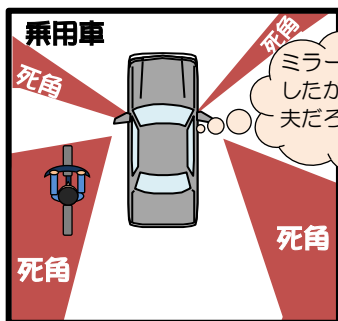
ドライバーの皆さんは、死角があることを念頭に安全確認を徹底し、発進や後退、又は進路変更する際は周囲に人がいないがよく確認しましょう。

埼玉県警察



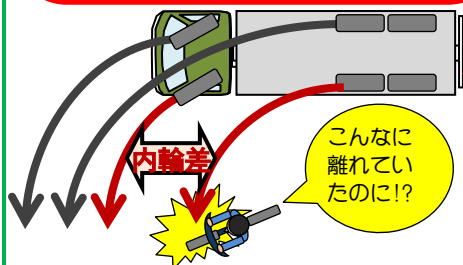
# くるま「死角」カード

～車の左右の死角と内輪差～



自動車は、構造上、運転者の左右斜め前または後ろ部分が死角となり見えていないことがあります。後方を走る自転車に気付かず急に曲がる場合がありますので、特に交差点付近では、前方を走る自動車の動きに注意しましょう。

また、自動車がカーブや右左折で進行する際、前輪が通ったところよりも後輪は内側を通る「内輪差」が発生します。特に大型車では内輪差が大きくなり、十分離れていたのに巻き込まれてしまう、という事故が起こり得ます。

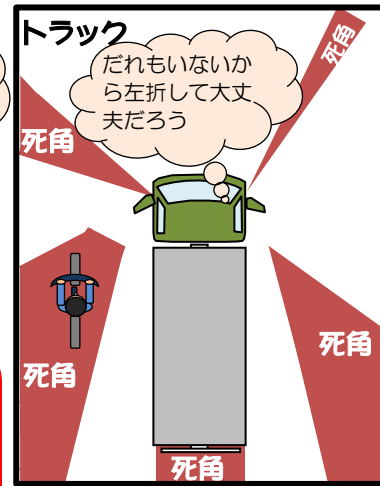
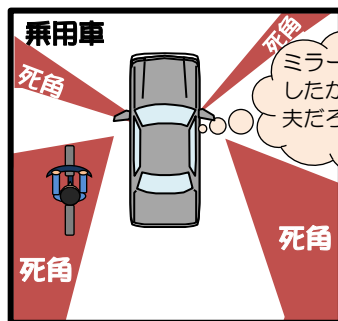


自転車の皆さんは、自動車の死角に入らないように注意しましょう。

また、ドライバーの皆さんは、右左折する際はミラー及び目視での安全確認を徹底し、徐行や一時停止をする等特に注意しましょう。

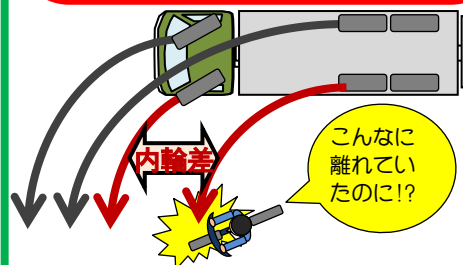
# くるま「死角」カード

～車の左右の死角と内輪差～



自動車は、構造上、運転者の左右斜め前または後ろ部分が死角となり見えていないことがあります。後方を走る自転車に気付かず急に曲がる場合がありますので、特に交差点付近では、前方を走る自動車の動きに注意しましょう。

また、自動車がカーブや右左折で進行する際、前輪が通ったところよりも後輪は内側を通る「内輪差」が発生します。特に大型車では内輪差が大きくなり、十分離れていたのに巻き込まれてしまう、という事故が起こり得ます。



自転車の皆さんは、自動車の死角に入らないように注意しましょう。

また、ドライバーの皆さんは、右左折する際はミラー及び目視での安全確認を徹底し、徐行や一時停止をする等特に注意しましょう。